

湧きあがる、大地からの壮大な音色!

# スロヴァキア・ フィルハーモニー管弦楽団 Slovenská Filharmónia

チャイコフスキー:  
ポロネーズ  
「エフゲニー・オネーギン」より

ピアノ協奏曲  
第1番

交響曲第6番

「悲愴」

ロシア出身の名匠

ダニエル・ライスキン(指揮)

聴衆の度肝を抜くうまさ

アンナ・ヴィニツカヤ(ピアノ)

2018年 **6/22** (金)

19:00開演(18:15開場)

京都コンサートホール 大ホール

©Marco Borggreve

©Marco Borggreve

オール・チャイコフスキー!  
プログラム!



京都コンサートホール  
KYOTO CONCERT HALL

主催・お問合せ チケット取扱い 主催:コンサートイマジン / 共催:京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)/京都市  
後援:スロヴァキア大使館/日本スロバキア協会 協賛:株式会社マイティ(スロバキア・ワイン輸入元)

全席指定

S¥9,000 A¥7,000

B¥5,000 C¥3,000(税込)

<京都コンサートホール・ロームシアター  
京都Club、京響友の会の会員>

S¥8,500 A¥6,500

B¥4,500 C¥2,500(税込)

※学生割引/シニア割引(70歳以上)/障がいのある方割引:各席500円割引。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱。窓口でご本人様が証明書等をご提示ください。

一般発売

2月3日(土) 10:00 チケット発売開始

京都コンサートホール 075-711-3231  
(10:00~17:00/第1・第3月曜休館)

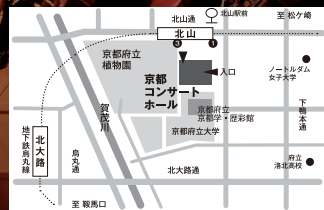
京都コンサートホール 会員先行:1月28日(日)10:00  
※京都コンサートホール・ロームシアター京都Club、京響友の会の会員が対象

24時間いつでも! オンラインチケット購入

京都コンサートホール 検索

<http://www.kyotoconcerthall.org>

- チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:102-798) ●e+(イープラス)<http://eplus.jp/>
- ローソンチケット 0570-000-407(Lコード:51666)
- ロームシアター京都 075-746-3201



※やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。  
※未就学児のご入場はお断り申し上げます。  
※団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

# オール・チャイコフスキー・プログラム

東欧随一の名門であり、今なお民族的な響きを濃く残す稀有なオーケストラ。  
そして、今注目の実力派指揮者ダニエル・ライスキンと、  
ヨーロッパ各地で絶好調活躍中のアンナ・ヴィニツカヤによる夢の共演が実現！

## ダニエル・ライスキン (指揮) Daniel Raiskin, conductor

Санктペテルブルク育ち。ヴァイオリン、ヴィオラと指揮を学ぶ。  
 マリス・ヤンソンス、ネーメ・ヤルヴィら錚々たる名匠たちの教えを受けた。  
 05年から16年までコブレンツのライン・フィルハーモニー州立管の首席指揮者を務め、08年から15年までポーランドのアルトゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニー管の首席指揮者を務めた。現在はテネリフェ交響楽団及びベオグラード・フィルの首席客演指揮者などを務める。  
 これまでに、ロシア国立響、モスクワ・フィル、マリンスキー劇場管、サンタ・チェチーリア国立管、ザルツブルク・モーツァルテウム管、ハノーファー北ドイツ放送フィル、デュッセルドルフ響、シュトゥットガルト・フィル、イエナ・フィル、リヨン国立管、ベルギー国立管、アテネ国立管、ラトヴィア国立響、エストニア国立響、マルメ響、アイスランド響、プエソスアイレス・フィル、サンアントニオ響、香港シンフォニエッタなどと共演している。  
 日本においても日本センチュリー響、大阪交響楽団と共演している。  
 また、オリムストーン、ゲルハルト・オピッツ、ラン・ラン、イーヴォ・ポゴレリッチ、ワディム・レーピン、シュテファン・ブラダー、ミッシェル・マイスキー、五嶋みどり、ジュリアン・ラクリン、諏訪内晶子、アレクセイ・リュビモフ、スティーブン・オズボーン、マルティン・フロスト、ナターリア・グートマン、ジャーニス・ヤンセン、シュロモ・ミンツらのソリストと共演している。  
 CDのリリースも多く、中でも11年のブラームス交響曲全曲、同年のショスタコーヴィチ交響曲第4番、15年のマーラー交響曲第3番の録音は特に高い評価を得ている。

## 次世代の巨匠！



© Marco Borggreve

## アンナ・ヴィニツカヤ (ピアノ) Anna Vinnitskaya, piano

## 究極のロシア・ピアノニズム

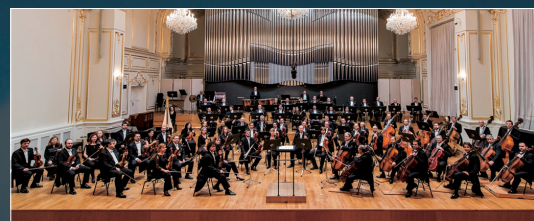
ロシア共和国ノボロシースクの音楽家一家に生まれる。  
 2007年、エリザベート王妃国際音楽コンクールで、圧倒的な評価を得て優勝。翌08年、ランランなどが過去に受賞したバーンスタイン賞を受賞した。  
 これまでにイスラエル・フィル、ベルリン放響、ミュンヘン・フィル、ベルリン・ドイツ響、ロイヤル・フィル、バーミンガム市響などのオーケストラと共演している。  
 デトワ、ネルソンス、キリル・ペトレンコ、インキネンなど多くの著名指揮者と共演しており、特にウルバンスキとはコンサートのみならずレコーディングでも共演している。16/17シーズンにはケルンWDR響のレジデント・ソリストを務め首席指揮者のサラステと、バルトークの全ピアノ協奏曲を録音とコンサートの両方で共演した。  
 またルツェルン音楽祭を始め、数々の音楽祭にも参加している。  
 09年よりハンブルク音楽演劇大学でピアノ科の教授を務めている。  
 07年、トッパンホールにてリサイタルを行い、東京デビューを果たす。09年2月の来日公演の様子は、NHKにより収録・放送された。  
 15年4月、N響定期(指揮:フェドセーエフ)に出演。さらに翌16年5月には大フィル(指揮:ウルバンスキ)、9月には都響と共演(指揮:インバル)。  
 17年10月、ベルリン・フィルハーモニー(カンマー・ムジーク・ザール)で開催されたリサイタルは完売となり、その様子は「度肝を抜かれた」(ふくもと まさお氏)などと各方面で大絶賛されている。  
 これまでに多数のCDをリリース。「エコー・クラシック」賞を受賞するなどいづれも注目を集め、高く評価されている。



© Marco Borggreve

## スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団 Slovenská Filharmónia

1949年、チェコスロヴァキア(当時)の東部スロヴァキア地方の首都ブラティスラヴァに創立された、スロヴァキア最初の国立オーケストラ。  
 初代首席指揮者は、チェコの伝説的な名指揮者ヴァーツラフ・ターリヒ。このオーケストラの設立に尽力し、短期間で第一級の水準に育成した。以後、「ブラハの春」音楽祭、「ブラハの秋」音楽祭(チェコ)、ブラティスラヴァ音楽祭、ウィーン芸術週間、ウィーン・モデルン、リンツ・ブルックナー音楽祭、ベルリン音楽祭、フィレンツェ五月祭といった著名国際的音楽祭への参加も多く、日本や全米、全欧への演奏旅行も頻繁に行っている。  
 レコーディングも多く、スプラフォン(チェコ)、オーバス(スロヴァキア)、ナクノス(香港)といったレーベルから多数のディスクをリリースしている。1980年の初来日以来、卓越したアンサンブルと力強い演奏、民族的な色彩感で高い評価を得ており、日本でも多数のファンを獲得している。 <http://www.filharm.sk/>



チェコ=スロヴァキアの大地に根差した素朴な音色。どこか心優しい伝統の優雅な響きは、何故か私たちがほっとさせるものがある。それはかつてのハプスブルク家の遺産なのだろうか…。首都ブラティスラヴァをドナウ河が悠然とウィーンから流れる。指揮者ダニエル・ライスキンは Санктペテルブルクに生まれ、ドイツでキャリアを積んだ、いま注目の指揮者。そしてアンナ・ヴィニツカヤは、とにかくすごい。世界の数々の檜舞台を熱狂の渦に巻き込んでいる。京都では、世界一のチャイコフスキーピアノ協奏曲を聴かせてくれるに違いない。

東京公演

2018年 6月18日(月) サントリーホール(大ホール)

S¥13,000 | A¥11,000 | B¥9,000 | P¥7,000 | S席ペア¥23,000